

平成27年度成人式



「成人の日」の前日の1月10日(日)、榛東中学校体育館において榛東村成人式を開催しました。成人を祝うような青空の下、出席者の皆さんは、友人や恩師との再会を喜びあっていました。

今年、成人を迎えたのは、平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた204人。

125人が出席した式典では、主催者である村長のあいさつのほか、来賓者から祝辞があり、新成人代表の野口燦史郎さん(3区)からお礼の言葉が述べられました。

また、中学校時代の恩師から新成人たちへメッセージが贈られたほか、榛東ふるさと太鼓による記念演奏では、新成人となった関知佳子さん(9区)も加わり、素晴らしい演奏が披露され、新成人としての新たな門出を祝福しました。

祝 成人おめでとう





新成人代表の言葉

野口 燦史郎さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励のお言葉をいただきました。村長様をはじめご来賓の方々、ご出席いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

私たちにとって成人式とは、十代の終わり、そして、子供から大人への一步を踏み出す、新たな人生の始まりでもあります。

今日に至るまでに、さまざまな経験を積み、自らの人生を歩み続けてきたことは、私たち一人ひとりが、誇りに思っていることと存じます。

皆さんは、これまでの人生を振り返り、失敗したと感じたこと、多々ありませんでしたか？ 私にはありました。私はこれまでの間、幾度となく失敗を繰り返してきました。失敗は、自分自身を容赦な

く痛めつけました。

しかしながら、失敗から再認識できたこともあります。自分のそばには、自分のことを大切に思ってくれる人が必ずいるということ。苦難に悩まされた時、失敗に落胆した時、いつもそばには家族の支えがありました。友人の鼓舞がありました。自分のことを見守ってくださった先生方や、地域の方々の存在がありました。それが何よりの心の支えになり、艱難辛苦を乗り越え、今こうして、皆さんとともに、この日を迎えることができたのだと確信しています。

大人とは何か？それは、今度は私たちが、今まで支えてきてくださった方々を支える番になる、ということの意味しているのではないのでしょうか。子供として人に支えられる側から、大人として人を支える側へ変わっていく、その分岐点として、今日という日を受け止めております。

とはいえ、まだまだ未熟者ですから、成人にはなつたものの、大人として生きていくには、学ぶべきことは多々あるかと思えます。こうした点を踏まえ、これから先、人々を支えていけるような、立派な大人を目指して、日々の道を歩んでいこうと考えています。

簡単ではございますが、これももちまして本日のお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。